

きらり健康生活協同組合



2026年 2月号

いのちの炎

〒960-8055 福島市野田町1丁目15番12号
TEL 024-531-6262 FAX 024-531-6333
URL <https://www.kirari-hcoop.com/>
e-mail seikyou@kirari-hcoop.com



(スマートフォン専用)

- 発行人/専務理事 橋本一弘
- 編集人/「いのちの炎」編集委員会



生協の現況

2025年12月31日現在

| | |
|----------|--------------|
| ★組合員数 | 20,319名 |
| ★出資総額 | 633,956,000円 |
| ★一人平均出資額 | 31,200円 |



「入浴サービスを利用したい」「慣れた場所で安心してリハビリを続けたい」という声が多く寄せられています。特に入浴は、ご本人のリフレッシュだけでなく、ご家族の介護負担を軽くする大切な支援です。そこで、リハビリ・身体づくり・入浴を自由に組み合わせられる「選べるデイケア」を新たに展開し、利用者の皆さまが「頑張る」だけでなく、「楽しめる」仕組みを整えます。

新しいコンセプトは、通うから「通いたくなる」デイケアへ。「今日はお風呂でさっぱりしたい」「次はリハビリで体を動かしたい」など、利用者ご自身が選べるスタイルを大切にしています。

入浴時はスタッフがそばで見守り、洗身・洗髪、浴槽の出入り、着替えなどを必要に応じて援助します。また、ご自宅で安全に入浴できる力を取り戻せるよう、身体機能の維持・向上にも取り組めます。浴室環境に合わせ、手すりの位置や入浴補助具の使い方など

特にご要望の多い入浴サービスは、要支援2～要介護2の方を対象としています。入浴や着替えに見守りや軽い介助が必要な方が、安心して利用できるよう支えます。

対象となるのは、おおよそ要支援1～要介護2の方を中心に、「最近外に出る機会が減ってきた」「階段がつかなくなってきた」「人と話す時間が少なくてさみしい」と感じている方々です。病院でのリハビリを終え、次のステップを探している方にもピッタリです。

「気持ちよかった」「また来たい」と感じていただけるよう、スタッフ一同、心を込めて対応いたします。

また、地域包括支援センターやボランティア、組合員、地域住民の皆さまとも連携し、孤立を防ぎながら、地域全体で健康を支える拠点づくりを進めていきます。

この春、須川診療所通所リハビリテーションが
大きく生まれ変わります！

「通う」から「通いたくなる」デイケアへ

【お問い合わせ先】
サービス内容や利用開始時期についてのご相談は、左記までお気軽にご連絡ください。

須川診療所 通所リハビリテーション（デイケア）
☎024-531-7889
担当：小平・遠藤

入浴は清潔保持だけでなく、心のリフレッシュにもつながる大切な時間です。「気持ちよかった」「また来たい」と感じていただけるよう、スタッフ一同、心を込めて対応いたします。

また、地域包括支援センターやボランティア、組合員、地域住民の皆さまとも連携し、孤立を防ぎながら、地域全体で健康を支える拠点づくりを進めていきます。

「気持ちよかった」「また来たい」と感じていただけるよう、スタッフ一同、心を込めて対応いたします。

また、地域包括支援センターやボランティア、組合員、地域住民の皆さまとも連携し、孤立を防ぎながら、地域全体で健康を支える拠点づくりを進めていきます。

2026 原発のない福島を！ 県民大集会

東日本大震災から15年。汚染水の海洋放出は粛々とすすめられています。廃炉作業はようやく数グラムのデブリが取り出されたもの一向に進みません。改めて当時を振り返り、これからを考える時間を共有しましょう。

と き 2026年3月21日(土) 12時開場、13時開会

と ころ パルセいいざか 〒960-0201 福島市飯坂町字筑前27-1

主 催 原発のない福島を！ 県民大集会実行委員会

開催にあたり、カンパや協賛金については生協の各事業所でお預かりいたします。また参加については下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先 地域保健部 ☎526-1515

二〇二五 生協強化月間より

二〇二五年、久しぶりに県外へ向けたバス旅行を二つの支部が実施しました。大型バスを貸切る五十名の参加を目標に、支部の皆さんへ丁寧な声をかけ、また、隣の支部からの参加も受け入れながら行われた旅行は、移動するバスの中で訪問先の見どころ報告やクイズ、運動(!!)など退屈しないような様々な企画を用意し、満員の車内で長時間となりましたが、楽しく過ごすことができました。また参加者から新たな組合員が誕生するなど、大きな成果にもつながりました。

この他にも懇親交流が再開されたり、ウォーキングやポッチャを用いたイベントも大盛況。また事業所では四つすべてのブロックで健康まつりが新たな参加者を迎えて盛大に行われるなど、原発事故やコロナ禍で大きな影響を受けた組合員活動も、また新たなステップを踏み出したのではないのでしょうか。

一九八二年の創立以来四十四年。新たに加わった組合員の皆さんとともに、どんどんステップアップしていきましょう。



数年前、友人が認知症になった。年は一つしか違わない。頭が良く運動もできた人だった。最初は人の名前を間違いううになった。そして同じ質問を繰り返すようになった。そのうち幻覚を見るようになった。友人宅を訪問した時、「お帰り下さい」と玄関のドアを開けていた。「どうしたの」と聞くと、「部屋に知らない子どもがいて帰ってくれない」と言った。ご主人に話を聞くと徘徊もしているそう。私は帰り道涙が止まらなかつた。まだ若いのに認知症になるなんて。

その後病院に入院したと聞きお見舞いに行った。友人は車イスに乗っていた。声をかけても返事すらない。うつろな顔つきで廃人のようだった。帰る時「また来るね」というと、友人は顔を上げ「大丈夫」と言った。友人は優しい人だった。認知症になっても私を気づかってくれたと思った。

認知症になると家族に迷惑がかかる。自分も認知症になりたくはない。そのために脳トレや体操をしたりしているが、どの程度効果があるものやら。指を動かすのが良いと聞き、ピアノを弾いたりもしている。ともあれ、将来の自分のために認知症マップを編んでおく。

住所の変更届出の催告

きらり健康生活協同組合・定款第十条「みなし自由脱退」にもとづき、居住地が不明の組合員について、「自由脱退」の手続きを行います。

当医療生協では、住所不明の組合員に関して、調査をしてみました。転居先等が判明しないため、「住所の変更届出の催告」について公告します。

二〇二六年二月一日

きらり健康生活協同組合

理事長 木村 公

〔お願い〕

○個人情報保護の関係上、氏名のみの記載とさせていただきます。

○下記の名簿の中で、お心当たりがあれば、「きらり健康生協本部 ☎〇二四一五三一―六二六二」まで、「ご連絡くださいますようお願いいたします。」

- (瀬上町) 遠藤紀、遠藤尚子、斎藤正子、鈴木勝子、藤田美智子、古内雄大、布施鈴代、穂積美代子、(本内) 石渡幸代、斎藤アキ、飯澤美夕、梅宮隆弘、四竈栄子、高野チイ子、林一重、林ヨシ子、広田牧子、保科靖子、吉川セツ子、竹田智子、(飯坂町) 小笠原みゆき、蒲倉智恵子、澤田初江、(飯坂町湯野) 平井寿光、舟山淑、山田学、渡辺登、(飯坂町平野) 阿部啓二、梅原秀幸、亀岡ノリ子、紺野裕子、紺野美弘、高橋孝信、(笹谷) 植松優、遠藤孝夫、大久保美子、大島英子、蒲倉廣之、後藤弘子、

- 田祥子、壁谷純一、古市とし子、守山夏希、矢ヶ崎富男、八巻美奈子、(霞町) 渡辺和江、(新町) 和合一桂、(早稲町) 菅井昭一郎、高橋洋一、千葉明、(曾根田町) 佐藤武朗、藤田真弓、(三河南町) 菅野佑紀、(野田町) 浅田望歩、阿部ミキ子、宇佐見まゆみ、碓井宏幸、小笠原遥、菅野政治、菅野陽一郎、七島張、菅沼勝人、照井恭子、渡辺良、安藤達也、一刀彩、一刀幸信、伊藤美知子、斎藤真知子、松本拓真、坂本美喜男、野村佳織、(笹木野) 浅野絹子、角田武志、鈴木謙一、富原育、山田勇、山田葉子、(清明町) 本田清則、本田裕子、(矢剣町) 斎藤イミ子、(須川町) 高橋美津子、山本聖子、(太田町) 助川三男、(東中央) 梅津昇、井上みな、(北中央) 加藤静江、新田篤史、羽根節子、三浦玲子、武藤幸一、渡部亘史、(西中央) 濱野帆南美、(南中央) 安西明子、(豊田町) 古屋匡子、(山下町) 永山貴博、(北五老内町) 大槻仁人、(東浜町) 國島克樹、(上浜町) 須貝恭子、(腰浜町) 山岸さくら、山田英樹、(渡利) 木村クニ、斎藤正男、佐藤清、佐藤七美、長澤昌子、二瓶正俊、本橋弘子、(小倉寺) 岩井賢志朗、坂入美奈、横山望緒、(太平寺) 早川寛、(鳥谷野) 佐藤明子、志賀達也、鈴木栄一、永井啓和、渡部成則、(黒岩) 安齋和之、安齋美保、伊勢田理奈、一條聡士、(伏拝) 遠藤澄子、佐藤友樹範、(蓬萊町) 小林悦子、三浦貴子、三浦輝雄、山本聡、(郷野目) 安齊あけみ、川沼キヨシ、小泉鉄之、佐藤洋子、(方木田) 坂詰由美子、白浜雅子、高野将行、渡邊千晶、(八木田) 大森秀人、上遠野フミ、(吉倉) 紺野章子、(仁井田) 伏見マサ、(岡部) 阿久津紋子、荒木照子、遠藤信子、本間武子、三浦忠、山倉鮎美、(北沢又) 阿部直美、紺野チヨノ、斎藤利男、樋口廣男、渡邊陽子、二瓶静江、入道正彦、(御山) 伊藤勝美、六戸美和子、西坂栄司、馬場彬、(泉) 栗原敏博、斎藤信子、二階堂英子、山岸典子、安齋美代、北野ヤへ、佐久間和子、佐藤サト子、菅原正志、原瀬久子、村田光治、(南沢又) 佐藤徳、山崎廣子、米倉ノブ子、二文字屋陽子、湯浅伊佐夫、斎藤栄、斎藤静子、佐藤英二、六戸仁美、宮内紀久子、(本宮市) 溝井未紀、(桑折町) 野田重郎、大槻巖、(国見町) 佐藤裕哉、(飯館村) 長井和子、(須賀川市) 神健太、(郡山市) 伊東雪羽、(田村市) 三輪マサノ、川原忠、(いわき市) 池田涼一、坂本翔、(浪江町) 菅野典男、(南相馬市) 森孝男、(千葉県) 高橋キミ、(宮城県) 加藤舞、若林栄次、(山形県) 酒井貴徳

稿 三河台中支部 旅行復活

これまでコロナ禍で休止していた支部旅行を今年復活しました。今年は何としても実施しようと、当初宮城県方面を企画してみましたが、バスを貸切るには人数が足りず、急遽紅葉の霊山の近間に決め、実行しました。十一月十日十四名の



参加で当日は何とか天候にも恵まれ、久々の旅行となりました。紅葉も見頃で、岩が際立つ霊峰霊山を真上に眺めながら「紅彩館」に到着。係りの方から説明を受け風呂に入る人、景色を眺める人、楽しく談話する人。あつという間にお昼。

立派な和食御膳を美味しくいただき、皆さんご満悦のようでした。当日二人のキャンセルもあり、その分のお膳も食べてあげる人もいて、大きな笑いを誘いました。食事後は、本部からのお知らせや「リハシユール」を中心とした介護予防のた



め運動や体づくりのご指導もあり、あつという間に帰る時間となりました。帰途、道の駅「伊達の郷」により、皆さん手に一杯のみやげを買ったようでした。今後の課題としては、手

身近に近い所でやるか、あるいは他支部と協力して、ある程度遠方の名所を選ぶか、皆様と協議を重ねたいと思います。(事務局 佐々木)

ウォーキングサポーター養成講座

南ブロック 教室実施



あなたの地域でもいかがでしょうか？

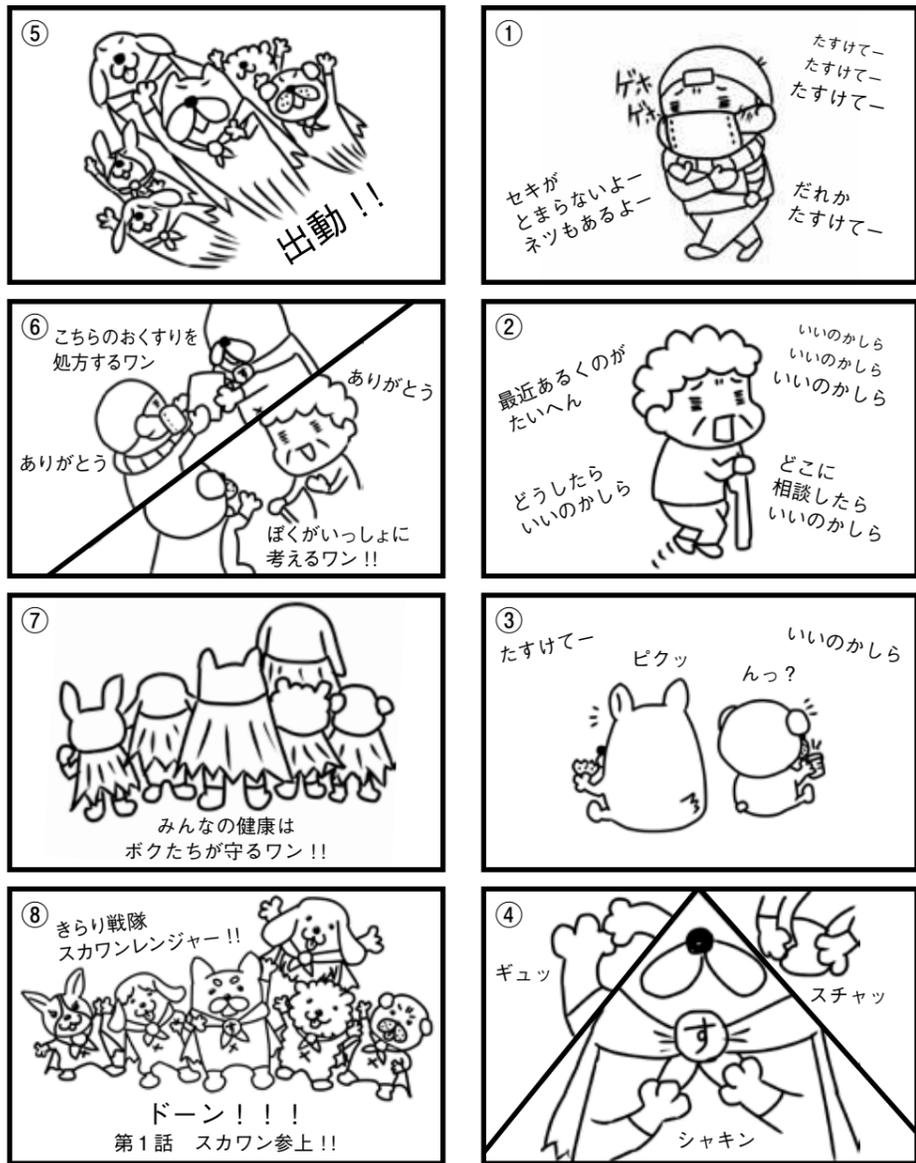
久々の講座となり、めでたく7名のサポーターが誕生しました。座学と実技2日の講座ですが、春に向けて希望される地域があればご連絡ください。

数名～10名程度から実施可能

日程についてはご相談させていただきます。

連絡先 地域保健部 ☎526-1515

中西ブロックの公認キャラクターが誕生しました



この度、中西ブロック公認キャラクタースカワンレンジャーが誕生しました。これからいろいろなところで皆様にお会いするかと思います。かわいがっていただけると嬉しいです。今後、紙面上でスカワンの詳しいご紹介もしていきます。よろしくお願ひします。



まぢづくり委員会より 介護保険の課題をどう考える?

私たちの老後の生活を支える介護事業の運営費は、介護報酬から出されています。この報酬改定は三年に一度の見直しなのですが、次回の見直しは一年前倒しとなり、今年六月に臨時の改定がなされます。理由は緊急的な賃上げに対応し、介護人材を確保するというものです。介護事業所の平均賃金は他産業の平均賃金を大きく下回り「賃金を引き上げないと介護職員がいなくなる」という危機感が、いまささやかれています。それなら「運営費に当たる介護報酬を引き上げればいいのでは」と思いますが、それには四十歳以上の国民が支払う介護保険料の引き上げが必要となります。若い方々は将来の備えとなる介護保険より、苦しむ目の前の生活をどうするかが重要と考えており、介護保険料の大幅引き上げは簡単ではありません。「それなら受益者である高齢者の利用料負担を多く出してもらったら?」との声も上がります。しかし、高齢者の中には一人暮らしや年金が少ない方もあり、利用者負担が増えると、サービスをあまり受けなくなるかもしれません。すると若い世代が家庭での介護の度合いが増えてしまうかもしれません。最悪の場合には見てもらえる人がいないために、孤独死するという不安も出てきます。

過去介護費用は税金で賄われており、そのサービス量は絶対的に不足していましたが、介護保険制度で利用者一割負担の仕組みができ、財政規模が広がったことでサービス量が拡大しました。しかし今制度が発足して二十五年たち、その仕組みもやや限界に来ているのかもしれない。いま私たちができることは、介護予防を心がけ、介護保険を使うことを先延ばしにし、財政不足や人材不足を補うというものかもしれません。それにはきりり健康生協のすすめる日々の活動の強化や、現在検討している組合員同士の助け合い、また移動支援の仕組みを充実することで健康を維持し孤独を防ぐ、という取り組みがキーポイントになるかもしれません。



認知症マフづくり

12月号の本紙でお知らせした認知症の方への「マフ」づくり。たくさんの方の毛糸も集まり、実際に作ってみたいとおっしゃる方の声もたくさんいただき、急遽一緒に作る日を年末20日に設けました。20名の方が参加され、渡部常務からマフづくりの意味を報告、先日からマフづくりで班会をすすめている鈴木さんから具体的な作り方の説明があり、有明さん、堀越さんなど班会で実践している先輩たちに手伝っていただき、進めて行きました。

約1時間、多少おしゃべりしながら進めましたが、完成には至らず、次回も実施する事に。

毎月最終土曜日の13時30分から、本部3階でしばらく継続する事としました。

途中でも誰でも参加ができますので、希望の方がいましたら下記までご連絡ください。



飯坂セラバンド教室 300回



▲厳しいけれど途中冗談もあり楽しい体操です

2007年20名で始まった飯坂セラバンド教室。コロナ禍を越え、18年で300回を数えることとなりました。当初は生協からだった講師も、2018年には参加者からセラバンドサポーターを受講した松浦さんにバトンタッチ。着実に回数を増やして現在に至りました。

セラバンド教室の歴史

| | | |
|-----------|--------------|--------|
| 2007/3/20 | 第1回 | 20名が参加 |
| 2016/2/1 | 月2回の定期開催へ | |
| 10月 | 松浦さんサポーター登録 | |
| 2018/1/29 | 松浦さんを中心に再始動 | |
| 2020 | コロナ禍のため一時中止も | |
| 2023/7/24 | 松浦さん体制100回達成 | |
| 2025/12/8 | 通算18年 300回達成 | |

これからもみんな元気で続けていきますよう宜しくお願いいたします。



▲300回を記念して皆さんと懇親会を開きました